



座談会「明治三大築港のいま、そしてこれから」



野蒜港（宮城）



三国港（福岡）



三角港（熊本）

明治三大築港に数えられる、東松島市の野蒜港、福岡県坂井市三国港、熊本県宇城市三角港。三国港から釣部由紀子氏（坂井市みくに龍翔館学芸員）、三角港から藤川智絵氏（宇城市学芸員）を講師としてお招きし、築港の歴史、これからの活用を探る座談会を12月8日に開催しました。

港湾の基礎を築いた「野蒜港」。

三国港は「日本遺産」、三角港は「世界遺産」の認定を受け、観光やまちづくりとしても活用されている現役の港です。

一方、野蒜港は、明治新政府によってわが国初の西洋式の本格的な貿易港として着工されました。しかし、立地の問題や膨大な費用、技術的な問題から工事は断念され、開港からわずか3年で廃港となりました。「野蒜築港は、明治政府の蹉跌です。しかしながら、その後の港湾・土木事業の礎となった、特に三角港の築港には大きな影響を与えたといえます。」と、野蒜築港ファンクラブ事務長松川清子氏は解説しました。残された煉瓦橋台、突堤などは文化財として保存されていましたが、東日本大震災で被災、築港資料

室も取り壊しを余儀なくされ、再建の目途が立たない状況です。

「幻の港」野蒜築港を後世に伝えるには？

それぞれの港の話題提供ののち、後半は座談会を開催。三国・三角港の事例を参考に、野蒜築港の今後を会場の皆さんと共に考えました。藤川氏は以前野蒜築港を視察した際に見た資料の多さに触れ「野蒜築港は現存するものは少ないとはいえ、資料の多さに驚いた。資料は活用しないと眠るだけ。後世に伝える方法を模索しては」と提言。会場からも、資料室再建の要望が多く聞かれました。釣部氏は「野蒜港は計画が頓挫したからこそ、遺構がそのまま残ったともいえるのでは。残ったものを大切に守れば地元の子ども

達も誇りに思うし、誇りに思うと発信しなくなる。そのサイクルを作り上げてほしい」と思いを語りました。

明治三大築港の3つの港を通した人と情報の交流が出来ないか、野蒜築港をどのように活用・保存していくかを会場に問いかけ終了しました。

この会が、野蒜築港の「リスタート」の契機となるように。今後も情報発信に努めていきたいと思います。



▲野蒜築港の今後を語るパネラーたち。

大高森に建立された「薬師堂」。その建築物としての価値と建立の意図を、松島湾の薬師信仰の歴史から探る！

講演会 宮戸の薬師堂

2020年2月8日（土）
13:30～16:00

会場：奥松島縄文村歴史資料館

講師：

七海 雅人氏（東北学院大学 教授）

関口 重樹氏

（宮城県教育庁文化財課 保存活用班長）

【申し込み不要・入場無料】

昨秋から始動した「丸木舟作り」。どんな木材を利用したか、全国の遺跡からどんな丸木舟が出土しているのかを紹介。

縄文講座 縄文時代に活躍した丸木舟

2020年3月21日（土）
13:30～16:00

会場：奥松島縄文村歴史資料館

講師：岡村 道雄氏（当館名誉館長）

鈴木 三男氏（東北大学名誉教授）

【申し込み不要・入場無料】

* 2月の土日体験*

日	月	火	水	木	金	土
						①
②	3	4	5	6	7	8 講演会
⑨	10	11	12	13	14	⑮
⑮	16	17	18	19	20	⑳
⑳	㉓	㉔	25	26	27	㉙

●…休館日 ○…体験できる日

受付時間 9:00～11:00

13:00～15:00

*勾玉・鹿角ストラップができます。

*火おこしは冬期休み中です。

今年もやります！
桜咲く島を目指して
ヤマザクラ2011本プロジェクト

第7回 ヤマザクラ植樹祭

2020年3月21日（土）
10:00～12:00

場所：奥松島縄文村歴史資料館
および宮戸島島内

事前申込み

☎0225-88-3927

2011本のヤマザクラが咲く島を目指して活動する「2011本ヤマザクラプロジェクト」。令和初の植樹祭を開催します。宮戸島に自生するヤマザクラの種から育てた苗木を植樹します。ご協力いただける方を募集中！資料館までお申し込みください。